

007ボンドカーに乗る!!



カーゾーン
読者しか読めない!
新春特別企画

ロッキーオート R3000GTオープンボディ

(トヨタ2000GT 007ボンドカー スーパーレプリカ)



国産車史上最も美しい車の1つといわれる2000GTのボディラインを忠実に再現しながら、ルーフやドアサッシュを大胆にカットし、新たにトランクを新設。まさに映画で使用されたボンドカーとしか思えない仕上がりです!!



フロントのフォグライト部やバンパー部等の部品は全て実車から採寸され正確に再現されています。もちろん全てロッキーオートのオリジナル製品であり本物にも通用ができるということです。



テールライトや反射鏡などもオリジナルで製造されています。ボンドカーはテールライト部分の内側がボディ色(白色)に塗られているのがノーマル車との違いです(ノーマル車はシルバー)。



高速道路での走行であっても意外に風の巻き込みが少なく、快適な走りを楽しむことができます。現代の交通事情に合わせて若干のワイドトレッド化とオリジナル車よりワイドなタイヤが装着されているため実車よりドッシャリとした印象を受けます。



七宝焼きのエンブレムはオリジナルをイメージしながら「ROCKY」と「3000GT」の文字に変更されています。もちろんオリジナルの復刻は可能ですが、あえて変更してあるという事です。ご了解ください……。



オリジナルのホイールはマグネシウム製ですが、R3000GTでは耐久性の高いアルミで復刻されています。デザインは忠実に再現されていますが、3リッターエンジン搭載によるハイパワ化に対応すべくリムはワイド化されています。ちなみに劇中のボンドカーはワイヤホイールでしたね。



江戸時代の街並みと「うだつ」が残る岐阜県美濃市で撮影。ホントに良く似合いますね~。
(協力:美濃市観光協会)



2000GTの際立った特徴であるフェンダー両サイドの盛り上がり(峰)が忠実に再現されていることがよく分かります。この峰は2000GT開発時に細谷四方洋氏(右ページ参照)が提案されたとの事です。



50年前のデザインとは思えない美しい丸目のリトラクタブルヘッドライト。ちなみにその下側にあるのがフォグライト。当時はかなりの冒険作だったことが分かります。

007ボンドカーとは?

イアン・フレミング原作の007シリーズ映画の第5作である「007は二度死ぬ(You Only Live Twice)」が1967年6月に公開されました。その劇中で日本車として初めてボンドカーとして採用されたのが「トヨタ2000GT」です。当初はノーマルボディの2000GTを使う予定であったようですが、主役であるジェームズ・ボンド(ショーン・コネリー氏)が長身であったため、車高が非常に低い2000GTではボンドの顔を満足に撮影できない、ということで急遽ルーフをカットし「オープントップ」への改造が行われました。そして誕生したのが通称「トヨタ2000GTボンドカー」です。改造は某トヨタディーラーに特注され2台が製造されたそうです。現在は1台がトヨタ博物館に所蔵されており、博物館主催のイベントで今もその雄姿を見る事ができます(もちろん走行可能です)。なおもう1台はしばらく行方不明との事でしたが国内に現存しレストア作業を受けています(詳細は不明)。

今回撮影に協力してくれた「麻那(まな)」さんです。ちなみにスリーサイズはB85 W60 H85で2000GTに負けないボディラインでした(笑)



内装は近代化されスミス製メーターや時計などが装備されています。なおこの車はオートマ車で、ステアリングも小型化されています。全ては現代の交通事情に合わせ快適にドライブできるようにリメイクされています。もちろんエアコンやパワーステアリングも装備していますから快適で遠方までドライブできます。



「麻那」さんでも楽々ドライブが可能!! これぞ単なるレプリカではない「スーパーレプリカ」たる所以。オリジナルの2000GTは今では何と1億円以上の値段が付くことも。それではおいそれと乗つていけないですからね……。

読者の皆さん、いかがでしたか? 岐阜市内、そして美濃市へと試乗をさせていただきましたが、いや~完成度が高く走行安定性も素晴らしいかったです。おまけに注目度はバツグンで後を追いかけてくる方も

多くて、コンビニで質問攻めに会ってしまいました。オートマ車であることでどうやく「もしかしてレプリカ?」という事に気付くという方がほとんどでしたが、皆さん「よくできるね」と一様に驚いていました。販売価格は約2000万円~とのことですが、気になる方はぜひロッキーオートさんへお問い合わせくださいね。今年も驚きのクルマをどんどん取材していきますのでどうかご期待ください!!(白井)

これが「R3000GT スーパーレプリカ」だ!!

元トヨタワークスチームキャブテンとして輝かしいレース戦績を持つレーシングドライバーでありトヨタ2000GTの開発においてデザインアシスタントを務められたのが「細谷四方洋(しほみ)」氏です。その細谷氏が監修を務めロッキーオートが製造しているのがR3000GTなのです。

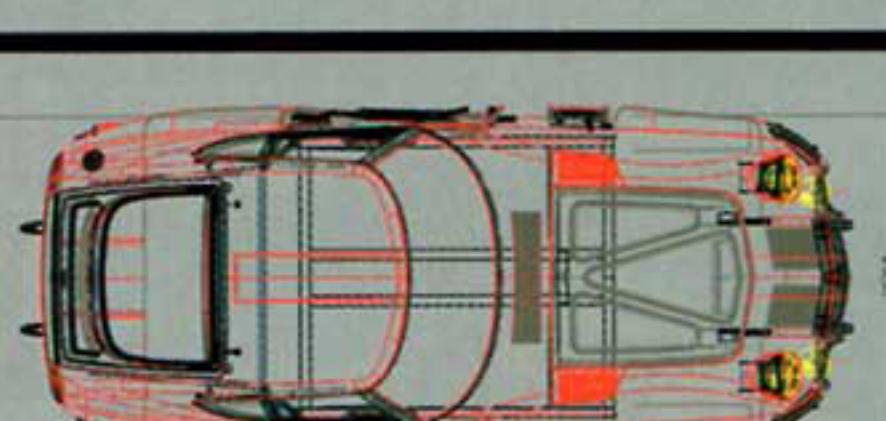
今から50年前に込められた想いと拘りを妥協なく現代に再現し、「見た目はオリジナル、中身は近代的な」という新しいコンセプトで造り上げているためスーパーレプリカと呼んでいます。もちろん正式にナンバーを取得でき公道走行も可能なのは言うまでもありません。



細谷四方洋 氏

ノーマルボディのR3000GT、手に入れるならこの美しいケーブルボディか、はたまたオープンボディか、非常に悩ましいですね。小生はオープンを選みたいのですが……。

2000GTの開発において細谷氏が監修を務め、R3000GTではレプリカ車には良くありがちなベース車両があるわけではありません。オリジナルのパイプフレームからシャーシが製造されていますから正真正銘のオリジナルモデルです。次なる期待はフォグライト部が細身になった「後期型」や「スピードドライアル車」の追加ですね。楽しみにしましょう!!



R3000GTのお問い合わせは
ロッキーオート tel.0564-66-5488
<http://www.rockyauto.co.jp>

TAKE FREE!!

HOT MONTHLY CAR MAGAZINE

02 2017
Vol.151
(通巻309号)

新春特別企画

幻の007ボンドカーに乗る!!

クルマの無料情報誌

カーゾーン

CARZONE® 25th Anniversary

2017 HAPPY
NEW YEAR!

ABARTH

CONTENTS

カーゾーンタイムス

2015-2016

ピコナップガール
大選挙

毎月 第2金曜発刊

撮影協力:セレクション カバーカー:スマートロードスター

◎(社)自動車公正取引協議会の賛助会員です。
(株)カーゾーンはより安心して自動車を購入できるよう、社団法人自動車公正取引協議会の定める「中古車規約に基づく広告表示事項」に基づき作成・編集しております。

無料

安心&お得な地元情報が満載!! 「クルマの事なら、カーゾーン」
お一人様一冊づつご自由にお持ち帰りください。

カーゾーン

検索